

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日時：令和4年3月4日（金曜日）10時00分～10時30分

場所：しおさい会議室

出席者：7人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人		
事業所職員（職名：施設長 介護主任 ユニットリーダー）			3名

報告事項：

利用状況

- ① 入所者の人数 20名（退所1名 入所1名 定員20名）
- ② 要介護度 要介護5 10名 ・ 要介護4 10名
要介護3 0名 ・
- ③ 男女比率 男性6人 ・ 女性14人
- ④ 年齢 62歳～97歳 平均87.4歳

介護状況

- ① 介護職員数 12名
- ② 有資格者数 10名（介護福祉士）
- ③ 起き上がり全介助 19名
- ④ 胃瘻 0名
- ⑤ 排せつ全介助 20名
- ⑥ 個浴：特浴 14名：6名
- ⑦ 肺炎入院 0名
- ⑧ 褥瘡 1名（新規入所者 病院で形成）

- ⑨ 重度拘縮 2名(看取り診断)
- ⑩ 感染症罹患患者 0名
- ⑪ 苦情相談 0件
- ⑫ 身体拘束 0件
- ⑬ 受診以上の介護事故 0件

1、施設長挨拶

職員が新型コロナウイルスに罹患したが、利用者、他職員に感染することなく終わった。利用者も濃厚接触者の対象にはならなかった。家族内で濃厚接触者がでた場合、出勤停止にしている。早い段階で休むことで広がることもなかった。感染した職員も元気に出勤している。ご心配ご迷惑をおかけしたことをお詫びしたい。

2、サービス提供の状況

○アンケートの実施結果報告
別紙参照。

・県外、県内の方と会うことがあります。厳しくしなくてもいいのではないかと感じます。

(施設回答)

→国からも緩和の方向で、と通知を受けている。面会用に陰圧テントも検討しながら、直接面会の基準も再度検討している。(ワクチン接種3回など基準をつける)

・外出支援に関して基準を設けたほうがよい

(施設回答)

→暖かくなってきているので蔓延状況をみながら外出は行いたい。方向性としては緩和していきたい。世の中の流れも変わってきているので安心も暮らしも重視していきたい。ご支援、ご協力をお願いしたい。

○新型コロナウイルス感染症陽性者発生に対する対応結果

		しおさいの状況	対応
1月	19日	本館職員家族に検査対象者発生	翌日から該当職員休業
	22日	保健所にてPCR検査	現場担当者、感染症対応開始 ・職員接触回避（利用エリア制限）
	23日	夜に陽性判明	
	24日 (1日目)	夜間に保健所より新館職員に対して濃厚接触者該当、PCR検査の連絡あり、そのまま休業	法人全体で情報共有、感染症対策 ・短期入所新規受入れ停止 →全10床中8床継続利用 ・各家庭連絡 (郵送・電話・HP他) ・行政機関へ報告 ・職員抗原検査（全員陰性）
	25日 (2日目)	濃厚接触職員保健所にてPCR検査	館内消毒 行政機関へ報告 関係居宅介護支援事業所へ状況報告 新館 ・原則利用者居室対応
	26日 (3日目)	濃厚接触職員PCR検査陽性	館内消毒 利用者抗原検査（ショート6名陰性） 短期入所本館利用者2名家族連絡濃厚 接触を疑う利用者（要観察者2名） 家族に状況報告

		保健所と情報共有。「濃厚接触には当たらないが、検査して制限解除しましょう」。 →2名27日PCR検査	須田先生に報告 要観察者居室対応、大型空気清浄機設置 新館 ・職員接触回避（利用エリア制限） ・入浴中止（清拭対応）
	27日 (4日目)	利用者2名PCR検査 → 陰性 利用者抗原検査(特養9名)	ごみ処理方法検討
	28日		業務復旧計画策定
2月	3日 4日 5日	安全宣言 通常サービス提供体制 本館職員復帰 新館職員復帰	万が一の感染（5%）に備え1週間は直接介助業務には入らない

	県内陽性者状況	面会	
11月	6日 県内発生	7日～	窓越し面会
	23日 県内発生	21日～ 24日～	直接面会 窓越し面会
12月	2日 県内発生	3日～	窓越し面会
	27日 県内発生	17日～ 28日～	直接面会 窓越し面会
1月	毎日発生		窓越し面会
	19日～ 検査対象者発生	21日～	面会中止
	23日 陽性		
	24日～ 施設内対応開始 27日 利用者2名PCR検査 陰性		
2月	3日 (安全宣言)		
	4日	4日～	窓越し面会

成功点	反省点
<p>①水際対策である「何かあれば休む」が機能した。</p> <p>②備蓄品は活用できた。</p> <p>③ゾーニングは状況にあわせて妥当な対応ができた。</p> <p>④外部に対して正確な情報発信ができた（本部）。</p> <p>⑤市のアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面図を活用して清掃カ所を確認、情報共有 ・接触者リストのフォーマット受領 <p>⑥LINE を活用した家族情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> →より一斉送信等、情報発信に強いアプリに変更 <p>⑦IT 活用した職員間情報伝達</p> <p>⑧職員のパニックや二次的な休みはなかった。</p>	<p>①接触者リストの提出は求められなかったが、作成が間に合わなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> →現在提出情報の元になる、職員の個人情報及びワクチン接種情報などの基本情報リストを作成中 <p>②退所した短期入所家庭へのサポートが不十分だった（相談員）。</p> <ul style="list-style-type: none"> →介護職員から連絡する。 <p>③居宅ケアマネと作業分担など連携不足。</p> <ul style="list-style-type: none"> →役割分担協議 <p>③ごみの一時保管場所</p>

○ユニット活動

- ・コロナ渦ではあるが気分転換や楽しいと思えるような企画を考えている。
- ・12月24日 行事レク委員主催でクリスマス会を開催。本館、新館分かれて少人数でハンドベル、バルーンアート鑑賞を行った。
- ・1月17日 ユニットでホットケーキ作り。まぜる、裏返すなど自然と手や指先を使い生活のリハビリになったように感じる。それぞれ利用者ができる範囲で行い「美味しい！」と大変好評だった。食の細かい方もペロリを完食され、五感を刺激されたのではと感じる。
- ・元旦には書初めを行いユニットの入り口に飾らせてもらった。
- ・節分にはお多福や虎、だるまの折り紙を職員と利用者で折ってリースにした。
- ・日常の様子としてはババ抜きをして過ごしたりしている。
- ・12月生まれのお誕生日をユニットでお祝いした。担当職員が居室を飾り、

写真撮影を行った。家族よりおやつや衣類が届いた。離れていても誕生日を祝いたい、という家族の気持ちを受け取り、今後も私たちにできることをしていきたいと思った。

○その他

面会時には各ご家族差し入れをご持参されることが多いです。しかし食べている様子を見るのがほとんどないため、窓越しながら家族の目の前で少し食べてもらうように変更しました。食べている様子が見られたと好評です。

LINEによる面会予約の試験運用。現在9家庭が利用中。

試験運用参加ご家族からの新たなニーズ

- ・写真を送ってもらい他の家族と簡単にシェアしたい。
- ・無料のテレビ電話を使って親と気軽に連絡を取りたい。
- ・軽微な連絡はメールやLINEでしてほしい。

感染症対策を経た課題

- ・各家庭に一斉に安否や対応状況を速やかに連絡したい
→ アプリを変更して本運用する。

3、サービスへの要望、助言、質問等

(地域住民代表)

外出に関して、この近くに散歩に行くことはあるのか。

→(介護主任)職員と一緒に行くことはあるが家族と一緒に行くことは、現在は行っていない。

(家族代表)

先日窓越し面会をさせてもらった。父の好物は、一番はアルコールだったが、二番目に好きなものは甘いものだった。職員さんに持ってきたものを食べさせてもらう姿をみたが表情が変わったのかよく分かった。

(家族代表)

12月に直接面会をした。直接顔が見られることがこんなにも安心するのかわかった。

(地域住民代表)

大田市内に施設は何個あるのか

→(施設長)特養は6施設、360床である。

→(市役所職員)8期計画でグループホーム設立も考えており準備中である。

(市役所職員)

しおさいは行事、サービスが充実していると感じる。先が見えないが、ウイズコロナということでうまく付き合っていくことが大事になるかを感じる。まずは働く人が元気であること、それが何よりも利用者の安心につながると思う。

(地域住民代表)

最近、外部講師は呼んでいないのか。

→(施設長)研修はオンラインか、職員で行っている。最近外部講師を頼むことはしていない。

(地域住民代表)大田市内の施設では外部講師は施設内に入って講師をしているのか。

→(市役所職員)法人によるが断っていると思う。

→(施設長)策を打っても次の株が出てくる現状がある。ご理解、ご協力頂けたらと思う。

5. 次回予定

令和4年4月15日(金曜日)10時~11時